

国土交通データプラットフォームの整備に向けて

コンサルティング事業統括本部 基盤技術事業本部 社会システム事業部 統合情報技術部 片柳 貴文 他

○キーワード

デジタル・ツイン、プラットフォーム、API、バーチャル・ジャパン、デジタル・ガバメント、データ駆動型、Society 5.0、DX（デジタル・トランスフォーメーション）

○概要

国土交通省は、国土、都市、交通、気象等の多くのデータを保有している機関であるものの、データは個々の部局ごとに管理されているものが多く、十分に連携されるまでには至っていない。そのため、国土交通省が保有するデータと民間等のデータを連携し、フィジカル空間（現実世界）の事象をサイバー空間に再現するデジタル・ツインにより業務の効率化やスマートシティ等の国土交通省の施策の高度化、産学官連携によるイノベーションの創出を目指し、データ連携基盤となるデータプラットフォームを国土交通データプラットフォーム（仮称）として整備を開始した。

本稿は、国土交通データプラットフォームの整備に向けて、自治体の維持管理情報とのデータ連携について、受注業務にて検討した内容を報告する。

○技術ポイント

国土交通データプラットフォームのデータ連携にかかり、以下の検討を行った。

- ① 自治体が保有する維持管理情報の実態調査
- ② 国土交通データプラットフォームと自治体のデータベースとの連携方法の検討
- ③ 維持管理データを活用したオープンイノベーションの検討
- ④ 他のデータプラットフォーム等の情報収集と連携方策の検討

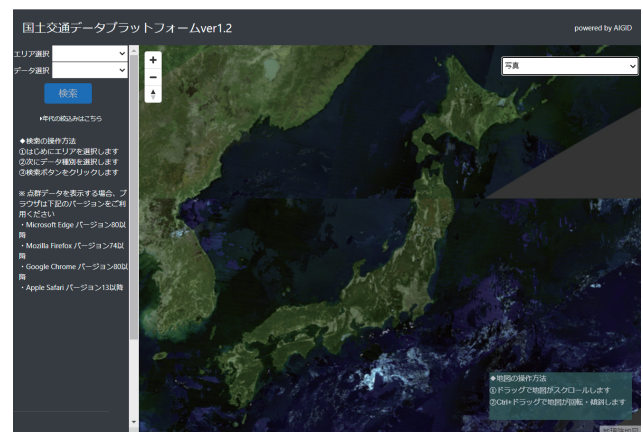
○図・表・写真等



国土交通データプラットフォームのトップ画面

国土交通データプラットフォームのトップ画面である。随時更新され、連携されるデータや機能が追加されている。

2020年10月29日にVer1.2が公開された。



国土交通データプラットフォームの検索画面

国土交通データプラットフォーム Ver1.2 の検索画面である。

左上に検索ボタンが配置されており、エリアやデータを選択し、検索できる。検索結果は地図上に表示される。